

「カネ」のお話

～鐘崎に伝わる沈鐘伝説や上八金山など、宗像の海と山に刻まれた「カネ」の歴史を紐解きます。～

開催日時 令和8年6月24日（水）10：00～12：00

講師 宗像市世界遺産課文化財係 山田広幸さん

開催場所 岬コミセン（ホール）

申込先 岬コミュニティ運営協議会 ☎0940-62-2656

締切日 6/20（土）



「鐘の岬」の地名の由来は、岬の沖に異国の釣鐘が沈んでいるという沈鐘伝説。

ずっと鐘が沈んでいるものと思われていたが、大正年間に引き上げたところ上がってきたのがこの石でした。

織幡神社左側にその石があります。

宗像大社神宝館横の広場の植え込みの中に、鉾石を砕くための「金ひきうす」がひっそりと置かれています。

引用：海の道むなかた館 HP

<https://www.city.munakata.lg.jp/searoad/kiji0034299/index.html>

